

## 2 令和3年度教育研究

### 1. 研究テーマ

学ぶ意義を考え、学びに向かう力を育む授業改善  
ICT機器の効果的な導入

### 2. 研究内容

現在本校で有する教育財産をICTの利用に置き換える活動を通して未来に継承する手立てを考える。

授業改善をICTの利用を通じて以下の視点で実践する。

- 主体的・対話的で深い学びを実現するために単元計画に「問い」工夫を位置づける。
  - ・主体的・対話的な活動を生む「問いの工夫Ⅰ」、深い学びにつなげるまたは自分の学びが将来にどう役に立つかを考える「問いの工夫Ⅱ」を単元計画に位置づけた授業を実践することで肯定的な自己理解を促す。
  - ・新大分スタンダードと関連づけた理論研究を行う。
- 指導と評価の一体化のもと、学ぶ意義を実感できる
  - ・教職員がめざす生徒像(資質・能力)を共有し、その変容をどう検証するかを協議することを通じて研究を推進する。
  - ・振り返りをもとに自らの学ぶ意義を見だし、将来に目を向けることができるように支援する。
  - ・3観点評価の実践例を蓄積する。特に主体的に学ぶ態度について「調整力」の看取り方を検証する。
  - ・その単元に身に付けさせる資質・能力を明らかにした単元計画を作成する。

### 3. 研究方法

- 研究発表会(公開授業)を実施  
国・社・数・理・技・美・体・英                      技家は毎年実施      音・美は隔年(※今年度は美術)
- 研究計画  
基本的に月に2回、校内研修を実施(1回は理論研, 1回は授業研)  
※ 授業日の1週間前に研究部と教科部会の合同指導案審議を行う  
※ 今年度ICT導入に係る研修を随時行う
- 教科主任会  
月に1度程度、今年度より設定する。研究全般、教科部会の活性化を意図する。
- 教科部会  
週に1度程度、授業に位置づけ開催する。教科主任が中心となり各教科の研究をすすめる。  
大学の先生との連携し、指導案審議や資質・能力、深い学び、評価の在り方について研修していく。  
提案授業をする際は、教科部会で事前検討を行う。

### 4. 研究計画

期	月	研修	内容
I	4	授業研	【理科】 研究テーマおよび方法の基調提案
II	5	理論研 研修会	研究の詳細(日程)・指導案の書き方について めざす資質能力の共有 ICT導入操作方法に係る研修
	6	授業研 理論研 研修会	【英語】 公開研に向けて① ICT実践交流会
	7	理論研 授業研	公開研に向けて② 【数学】
III	8	指導案審議	公開研に向けて グループ研および全体研
	9	校内研 公開研	公開研準備 【国・社・数・理・技・美・体・英】
IV	10	FU研修 理論研	【数・社・技・音・体】 公開研の振り返り
V	11	授業研 研修会	【総合】 ICT実践交流会
	12	授業研 理論研	【国語】 次年度の研究構想 研究の検証
VI	1	理論研 セミナー	研究テーマ基調提案 ICT活用の検証 外国語セミナー【英語】
	2	研修会 理論研	ICT実践交流会 研究の詳細
	3	理論研	総括・次年度に向けて 研究紀要の発刊

研究紀要の執筆

原稿提出  
紀要制作  
完成